



11月30日(火) (第30号) 新建築新聞社  
東京 〒104-0011 東京都中央区新富町2-6-4 TEL:03(5522)1004 FAX:03(5522)1005  
大阪 〒558-0026 大阪府住吉区南船場5-1 TEL:03(5522)1011 編集 FAX:03(5522)1110

11月30日号 主な記事  
木材にこだわるつぐらぎの取り組み  
地元スギを集成材に 公共建築で山の活性化  
乾燥材の良さがブランド  
フィンランド産の高温乾燥木材  
良いものを世界から



# 世界最適調達のすすめ

## 良いものを世界から

### 無薬剤で高い防腐蚀性・寸法安定性

#### フィンランド産の新材「サーモウッド」

池上産業

水と熱のみで処理  
「生木と炭の中間」

高熱乾燥材の処理工程はシンプル。製材した木材を窯に入れて最長48時間予備加熱した後、150度〜240度の高温に30分から4時間さらして乾燥させる。このとき木材が燃え上がらないよう水蒸気を吹き掛ける。最後に窯から出して最高24時間、室温まで冷却させれば完成。

池上智重社長は「高熱乾燥材は、いわば生木と炭の中間」と説明する。

「木材は高温を与えることで、高分子から低分子に分解される。木材を構成する成分のうち、もともと低分子であるヤニ、養分の糖類、VOCなどは抜けて分解されてしまっている。高分子であった木材の骨格だけが残る。処理後に残った木材は高分子で構成されるため、ダニや腐蝕菌が食えることができない」という。

水分との結合を促す水酸基も減少するため、木材の吸水性が低下する。通常平衡含水率12%の木材は処理後に約半分の5



池上智重社長



「サーモウッド」は、レッドパイン(14×28mm)の板材が7500円/m<sup>2</sup>、このほか床材(19×135)、デッキ材(25×135)、材ラ(26×90・140)、材フ(66×66×3600〜)がある。価格は、150×2000〜4100のみで35万円/本。

池上産業  
084-933-8856  
http://www.ikegamiinc.co.jp  
ジェット口輸入住宅部材センター東京  
03-3989-3364  
http://www.jhmc.info/user/index.do

約6%まで落ちる。これにより材の寸法安定性が向上する。現在ではオランダ・フランス・オーストリアなどの企業が製造・販売を開始、徐々に欧州全土に普及しつつある。池上産業ではフィンランドの会員企業が輸入している。「性能をつきつめた人工的なものよりも、自然素材の範囲でありながら、21℃の高温で乾燥させ耐久性を高めた。パイン材は乾燥温度を190℃とし、強度変化を抑えることで内装材や家具用に対応している。」

「住宅に木を採り入れたいが薬剤や接着剤を使いたくない」という消費者、木材を外装に使用したいが心配で思い留まっている設計士にお勧めしたい。素足で歩くことと木の温もりを感じられるため、老人ホームなどの床やデスクでも活用してほしい(池上社長)。

「世界には、オーストラリアのジャラ、東南アジアのイペ、ウリンなど耐久性の高い樹種がある。しかし、これらは育林体制が確立されていないものも多い。このため欧州では、育林管理された材を高熱乾燥処理して使うことが自然環境への貢献につながる、という認識が広まってきている。」池上社長。

「サーモウッド」は、レッドパイン(14×28mm)の板材が7500円/m<sup>2</sup>、このほか床材(19×135)、デッキ材(25×135)、材ラ(26×90・140)、材フ(66×66×3600〜)がある。価格は、150×2000〜4100のみで35万円/本。

池上産業  
084-933-8856  
http://www.ikegamiinc.co.jp  
ジェット口輸入住宅部材センター東京  
03-3989-3364  
http://www.jhmc.info/user/index.do